

Real Reading System

4-3-3





## ◆文の要素を見分ける → 4種類

☆☆☆☆ S・V・O・C

- S - 主語(subject) …… 名詞のみ
- V - 動詞(verb) …… 自動詞 or 他動詞
- O - 目的語(object) …… 名詞のみ
- C - 補語(complement) …… 名詞 or 形容詞
- ※M - 修飾語(modifier) …… 形容詞 or 副詞

## ◇基本の5文型 ※あまり深くこだわらないこと

第1文型 S+V (+M)

第2文型 S+V+C (+M)

第3文型 S+V+O (+M)

第4文型 S+V+O+O (+M)

第5文型 S+V+O+C (+M)

[How to mark]

S・V・O・Cの核となる語を○で囲い、SVOCを添える

単文 - 節が1つ …… ◎

複文 - 節が複数 …… 主節は◎ 従属節は○

主節はSVOC 他の節中はS'V'O'C'をマークする。

[This music] (S) (is) (V) <worth (C) listening to > (over and over again) .

## ◆品詞の働きを見分ける → 3種類×3種類

☆☆☆ {名詞・形容詞・副詞} × {語・句・節} ☆☆☆

|                  |                      |
|------------------|----------------------|
| • 名詞(noun)       | ……文型の基本要素            |
| • 形容詞(adjective) | ……名詞を修飾する or 補語になる   |
| • 副詞(adverb)     | ……形容詞・副詞・動詞を修飾する     |
| • 語(word)        | ……1つの単語              |
| • 句(phrase)      | ……2語以上のSVのない意味上のかたまり |
| • 節(clause)      | ……2語以上のSVのある意味上のかたまり |

[How to mark]

[名詞] <形容詞> (副詞)

[名詞句] <形容詞句> (副詞句)

[名詞節] <形容詞節> (副詞節)

読解に不必要なものは無理にマークしなくてよい。

かたまりの区切りに迷ったら意味のつながりで。

### ◇ [名詞句]

- 動名詞句：動名詞のかたまり ※前置詞後の～ing はほぼ動名詞

I love [watching football games] .

- 不定詞 - 名詞的用法：不定詞のかたまり ※前置詞の後には不可

[To see] is [to believe] .

- 疑問詞/whether+不定詞 ※前置詞の後に置ける

He was thinking about [what to do next] .

## ◇ 〈形容詞句〉

- 前置詞句

Look at the man 〈in black〉 .

- 不定詞 - 形容詞的用法

We have many things 〈to do〉 today?

- 現在分詞：形容詞と考えれば進行形は SVC とみなせる

The girl 〈sleeping on the sofa〉 is so cute.

I am 〈waiting for the elevator to come〉 .

- 過去分詞：形容詞と考えれば受動態は SVC とみなせる

Listen to the speech 〈made by the president〉 .

English is 〈spoken〉 all over the world.

- 形容詞の後置修飾

How about something 〈hot to drink〉 ?

## ◇ (副詞句)

- 前置詞句

He went there (by train) .

- 分詞構文 - 現在分詞

(Having lived in Paris for 5 years) , I know the city well.

- 分詞構文 - 過去分詞

(Seen from a distance) , the rock looks like a human face.

- 不定詞 - 副詞的用法

I went to Helsinki (to see my sisiter) .

- 時間・距離を表す名詞から転じた副詞句 (※前置詞不要！)

I jog 10 kilometers (every Sunday) .

Christmas fell on Saturday (that year) .

#### ◇ [名詞節]

- that 節 - そのまま文型の要素になるもの

I think [that you are right] .

- that 節 - 直前の名詞の説明として並列される同格の that 節

The thought [that women should stay home] is out of date.

- if / whether 節

I don't know [if he will come] .

- 疑問詞節

Can you guess [who I am] ?

- what 節：what は関係代名詞

I don't understand [what you mean] .

- 複合関係代名詞節：～ever

I will lend my bicycle to [whoever wants to ride it] .

◇ 〈形容詞節〉

- ・ 関係代名詞節

She is the girl 〈who dumped me〉 .

- ・ 関係副詞節

Do you know the time 〈when the train will leave〉 ?

◇ (副詞節)

- ・ 従属接続詞節

I was late for school (because I had missed my train) .

◆ その他、相関性をマークしづらい構文

[How to mark]

no more ~ than ~ /

so ~ that ~ / it is ~ that ~ など

比較、so that や強調構文などはマークしづらいので、  
頻出構文はある程度頭に入れておき、理解しているこ  
とを示すために構文をセットで四角で囲っておく。

It is you who are to blame.

A whale is no more a fish than a horse is (a fish).



## ◆論文速読のために知っておくべきこと

### “センテンス” から “パラグラフ” へ

- ・ 一文一文を丁寧に訳す → センテンスの理解
- ・ 論理展開だけを追う → パラグラフの把握

この二つは全く異なる作業であることを意識しておく

文章というのは単文の羅列ではなく、したがって、一文一文を訳すことはパラグラフの論旨をつかむこととつながらない。パラグラフ単位の論旨をつかむには、まず文と文との関係を把握することが大切であり、文そのものを訳す作業に溺れてはいけない。一文ごとの細かい構造把握はそれほど重視せず、まず論理展開だけを見る。その中で重要と思われる箇所に関して重点的に読解を試みる。英語を速読するというのは、勝手に読み飛ばして拾い読みした結果筆者の意図を取り違えるようなでたらめな読み方ではなく、単語を目で追いながら論理展開を確認し、読むべき箇所だけをあぶり出すということの意味する。そのために必要な知識の運用は練習しておこう。

## ★文と文をつなぐロジック

- ・ 意識すること

文と文には必ず何らかの関係がある

## ■パラグラフとは

ある一つの main idea に関連する文の集まりであり、最初の文が topic sentence となる。残りの文は detail sentence。

原則：one paragraphにつき one topic

topic sentence に one topic が集約されている。

原則が守られているのが良いパラグラフ

原則が守られていないのは悪いパラグラフ

流れ：topic sentence で一般化した topic を提示  
detail sentence でその topic を説明

### topic sentence の傾向

×漠然とした意味 → ○明確な意味

×説明が不要なほど具体的 → ○一般的（抽象的）話題

### 具体例

×I go to school. → ○I go to a very strange school.

### detail sentence の展開

- spatial（空間上の位置） なるべく位置順通りに展開
- chronological（時間の流れ） なるべく時間通りに展開
- generality（概要と詳細） 通常は、概要→詳細
  - ※topic が詳細な時は詳細→概要もある
- importance（重要度） 通常は、高い→低い

### ■いろいろなロジック

順接（→D.M. 結論・結果 / 同格・換言 / 例示）

逆接（→D.M. 逆接 / 譲歩・反証提示）

説明（→D.M. 理由・原因）

対比（→D.M. 対比・対照）

並列（→D.M. 追加・列挙）

実際の論理展開は、ディスコースマーカーを通じて確認してゆく。

## ★ディスコース・マーカー – Discourse Marker –

パラグラフの文脈変化（文と文のつながり方）を示す指標

接続詞・副詞・副詞句 …… D.M.

D.M.に注意して読めば、論理展開を追いやすい

要約問題など大意をつかむのに特に有効

瑣末な内容一致問題を機械的に解く作業には有効でない

### ◇逆接

マーカーの後ろが重点かつ**重要**。

しかし → **論旨・主張**

but / however / still / nevertheless / nonetheless /  
in spite of this

### ◇結論・結果

マーカーの前後に因果関係があり、重点は前<後かつ**重要**。

理由・原因 → だから → **結論・結果**

therefore / so / thus / hence / as a result /  
in conclusion / consequently / accordingly /  
that is why / it follows from this / so that /  
for this reason

### ◇理由・原因

マーカーの前後に因果関係があり、重点は前>後かつ**重要**。

結論・結果 ← **なぜなら** ← 理由・原因

, for / because / that is because / it is that /  
it may(might) be that / the reason is / for one thing

### ◇対比・対照

マーカーの前後で事象が並列され、重点は前≒後かつ**重要**。

事象 A ≒ **一方で** ≒ 事象 B

while / whereas / meanwhile / on the other hand /  
in contrast / conversely / by contrast /  
at the same time / some ~ , others ~ /  
the former ~ , the latter ~

### ◇追記・列挙

マーカーの後ろに付加情報を列挙し、重点は前≒後かつ**重要**。

既出情報 + **さらにまた** + 付加情報

also / besides / moreover / furthermore /  
additionally / again / in addition / as well / too /  
what is more / (first)……secondly ~ thirdly ~ /  
then / one ~ , another(the other) ~

## ◇譲歩・反証提示

マーカー部分はただの前ふり。逆接マーカーと相関的に用いられる。

譲歩して反対意見も考慮してから後ろに**筆者の意見**を置く。

確かに～譲歩部分～だが → **論旨・主張**

of course / indeed / to be sure / certainly /  
generally / naturally /  
to some extent(degree/point) /  
it is clear(obvious/true) that /  
it is believed(supposed/said) that /  
although S V / even if S V / even though S V

## ◇同格・換言

前述の情報をマーカーの後ろで言い換えるので、重点は前⇌後。

一般的・抽象的 ⇌ すなわち ⇌ 具体的

that is(to say) / or / namely / in other words /  
to put it another way / in short /

※句読点 / パンクチュエーションマーク (punctuation mark)

A—B (ダッシュ)

A : B (コロン)

A, B (カンマ)

## ◇例示

前述の情報の具体例をマーカーの後ろに挙げる。重点は前≡後。

一般的・抽象的 ⇒ たとえば ⇒ 具体例

for example / for instance / Take ~ for example /  
to take a simple example / say / such as

## ◆補足

### パンクチュエーション（句読法） – punctuation –

1. period（ピリオド）

〈 ． 〉 平叙文・命令文の文末 / 略語の後ろ(U.S.A. / Q.E.D.)

2. comma（コンマ）

〈 ， 〉 文頭の副詞（副詞句 / 節）の後ろ / 語句の区切り / 等位接続詞の前 /

名詞の後の同格の前 / 挿入

3. quotation marks（クォーテーション・マーク / 引用符）

〈 “ ” / ‘ ’ 〉 発言内容 / 文の引用 / 語句に特別な意味を込めるとき

4. colon（コロン）

〈 ： 〉 説明する文を続けるとき / リストアップするとき

5. semicolon（セミコロン）

〈 ; 〉 接続詞を使用せず文をつなぐとき

6. dash（ダッシュ）

〈 — 〉 語句や節を区別してつなぐとき

7. hyphen（ハイフン）

〈 - 〉 語と語をつなぐとき / 複合語をつくる時

8. italic（イタリック / 斜字体）

〈 *italic* 〉 作品のタイトルを表すとき / 外来語であることを表すとき

## ★英文の読み方

全ての文章を等しく読むのではなく、重要度を踏まえて「強弱」をつけて読む。厳密なルールがあるわけではないが、原則として以下の読み方は知っておくこと。

### ◇必ず読むべき部分

#### ①D.M.【 逆接 / 結論・結果 / 対比・対照 / 追加・列挙 】

論理的に重要な内容を含むはずである。

#### ②命令文 / “I think(suppose/argue/agree) ~ ” などの表現

主観表現は筆者の主張を表すことが多い。

#### ③V……助動詞 / seem / appear

特に、should / must / may / might はニュアンスとして主観を含むので、筆者の主張を表すことが多い。

#### ④C……主観判断を含む形容詞

good / important / significant / necessary / essential

#### ⑤強調構文・相関構文

強調構文：“It is ~ that …”

相関構文：“so (such) ~ that …” “not (only) ~ but (also) …”

強意表現であるので、筆者が重要と考える部分を含む。

#### ⑥仮定法

助動詞(would / could / might / should)は主観表現

## ⑦論文中の疑問文に対する解答

疑問文で問題提起して**自らの主張を解答とする**のは常套手段。

## ⑧時制が混在する論文中の**現在形**部分

現在形は普遍的事実、不変の真理を表すという原則から見ると、

現在形部分は筆者が**(主観的に)**正しいと考える論旨にあたる。

それに対し過去形部分は主張の裏付けに用いられる単なる素材。

## ◇余裕があれば読むべき部分

直接筆者の主張を含むわけではないが、主張を補足する部分なので、主張を理解するヒントになる。

①D.M.【 譲歩・反証提示 / 例示 】 ……反対意見・具体的説明

②具体的事例 ……具体的説明

③歴史的事実 ……既知の事実による主張の裏付け

④統計的事実 ……データによる主張の裏付け

⑤偉人の名言などの引用 ……権威による主張の裏付け